ナメコ福島Ｎ２号とは・・・

近年、ナメコ栽培は専業化による採算性重視型の栽培が主流になってきています。それに伴い品種も培養日数が短い、回転性の良い、通称「極早生系品種」が一般的で型を押したような小型のナメコが市場に溢れ本来の味のある大型きのこが消えています。それを解消し、差別化を目指すため福島Ｎ２号の開発となった訳となりました。

福島Ｎ２号とは、「早生系品種」で開発当初は周年栽培用品種として普及に努めてきましたがその形状、食味などから現在は袋、箱を利用した自然栽培が主流となってきている品種です。

注）福島Ｎ２号は福島県林業研究センターの開発品種です。

福島Ｎ２号に関するお問い合わせは（財）福島県きのこ振興センター、福島県林業研究センターもしくは最寄の各農林事務所へお問い合わせください。

野外袋栽培の福島Ｎ２号

公益社団法人 福島県森林・林業・緑化協会
きのこ振興センター

福島県郡山市安積町成田字西島坂７－２

電 話 ： 024(９47)2188
ＦＡＸ ： 024(９47)6926

E.mail ： fukukinoko@iaa.itkeeper.ne.jp
URL ： www.fukurin-net.jp

きのこ栽培技術シリーズ２００７

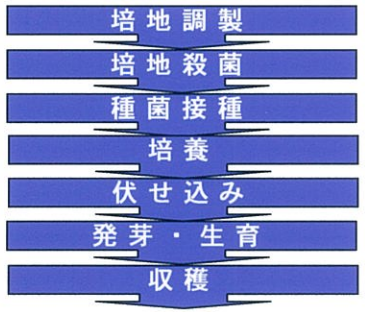
図解ナメコ福島Ｎ２号栽培の手引き
-野外栽培編-

公益社団法人 福島県森林・林業・緑化協会
きのこ振興センター

電話: 024－947－2188
FAX: 024－947－6926

図解ナメコ福島Ｎ２号野外栽培法

１．作業工程（作業手順の概要）



２．培地の仕込み

○時期
通常の自然秋発生の仕込みは、2～3月の野外空中害菌の少ない時期におこないます。

○原材料
広葉樹おが粉と栄養剤として、コメヌカ（新鮮）、フスマ（特選フスマ含む）を使用します。広葉樹おが粉は多少粒子の粗い新鮮なナメコ栽培用を使用します。

○培地の調製
培地の配合割合は、おが粉10：栄養添加剤1～1.5（容量比）で十分に攪拌し、水分を調製した後、フィルター付きＰ．Ｐ袋に一定量充填します。培養期間が比較的長い大袋栽培（2500cc以上）の場合必ず、フィルター付袋の使用を薦めます。

○殺菌
容量2500cc以上の袋栽培では常圧殺菌法で、培地内温度が98～99℃にたっしてから6～7時間、1200ccの小袋栽培では5～6時間が本殺菌の目安となります。

ナメコ培地殺菌の例

条件：直火バーナー使用の常圧殺菌、2500cc袋

加熱（120～150分程度）→本殺菌（360～420分）→蒸らし（60～120分）→釜だし

○接種
培地冷却後培地温度22℃以下になってから、1袋あたり約30ccの種菌を接種します。容量1500cc種菌ビンで約50袋（2500cc）の接種量が目安となります。

常圧殺菌方法

接種方法

接種終了後の福島Ｎ２号菌床

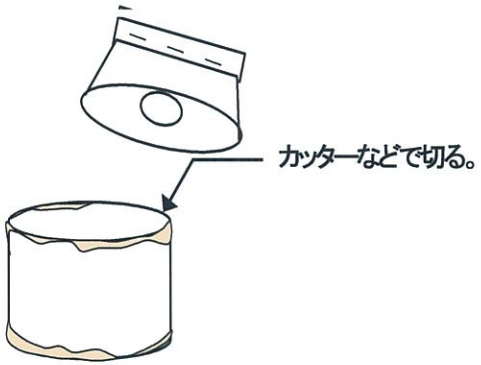
３．培　養

○期間
本伏せ込みまでの室内管理期間を培養期間とします。通常は2月頃より8月下旬頃までの期間です。

○方法
自然条件下の培養では、半年以上の室内管理となるため直射日光を避け蒸れないように風通しに十分注意し管理します。また、低温期にストーブなどの暖房機器を使用する場合は換気と乾燥および火の取り扱いに注意して下さい。

写真：福島Ｎ２号の培養

完熟した福島N２号の菌床

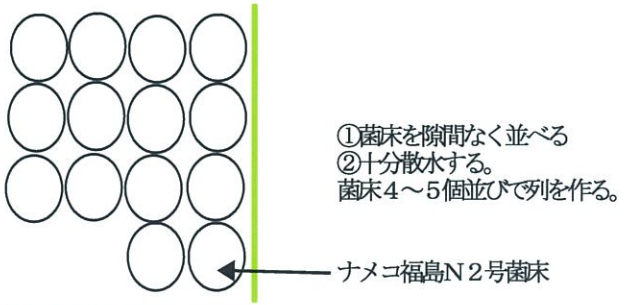


発生操作（袋上部の袋切り）

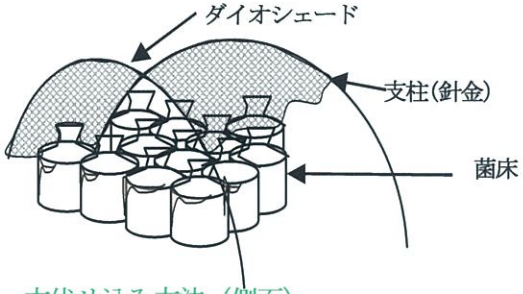
５．伏せ込み

○方法

図のように水はけの良い場所の地表面を整地し4～5列で並べます。また、直射日光と乾燥防止のため、ダイオシェード の トンネルを設けます。9月頃、袋の20%程度にきのこの袋内発生が確認できたら、袋上部を図のようにカッターかハサミなどで取り去り発生に備えます。〔1坪当たりの伏せ込み量は約40個（2500cc培地）を標準とします。〕



本伏せ込み方法（平面）



本伏せ込み方法（側面）

写真：本伏せ込み及び発生

○場所

明るくて水はけのよい東南向きの広葉樹林又杉林などを利用して下さい。裸地でも遮光ネットなどを使用しますと栽培は可能です。

○発生（期間）

気象条件や本伏せ場所などにより多少異なりますが、9～11月頃が発生期間となります。

６．生　育

過乾燥は原基形成に悪影響を及ぼすため、水管理に十分注意して直射日光や強風から菌床の乾燥を防ぎます。 子実体（きのこ）生育中の直接の雨 （水）は、 きのこの品質低下につながるので 雨よけには配慮（工夫）が必要です。

７．収　穫

収穫期は、傘が6～7分開きの頃を適期とし、株ごと収穫します。期間中3～4回の大きな周期で発生し、後半は子実体はやや小型になります。収量については菌床重量の約30%程度発生します。

８．その後の管理

収穫後、採り残りのきのこカス、害菌が発生した菌床は取り除いてください気候条件、菌床の状態により来春発生する場合もあります。廃菌作業は4～5月頃行うようにしてください。